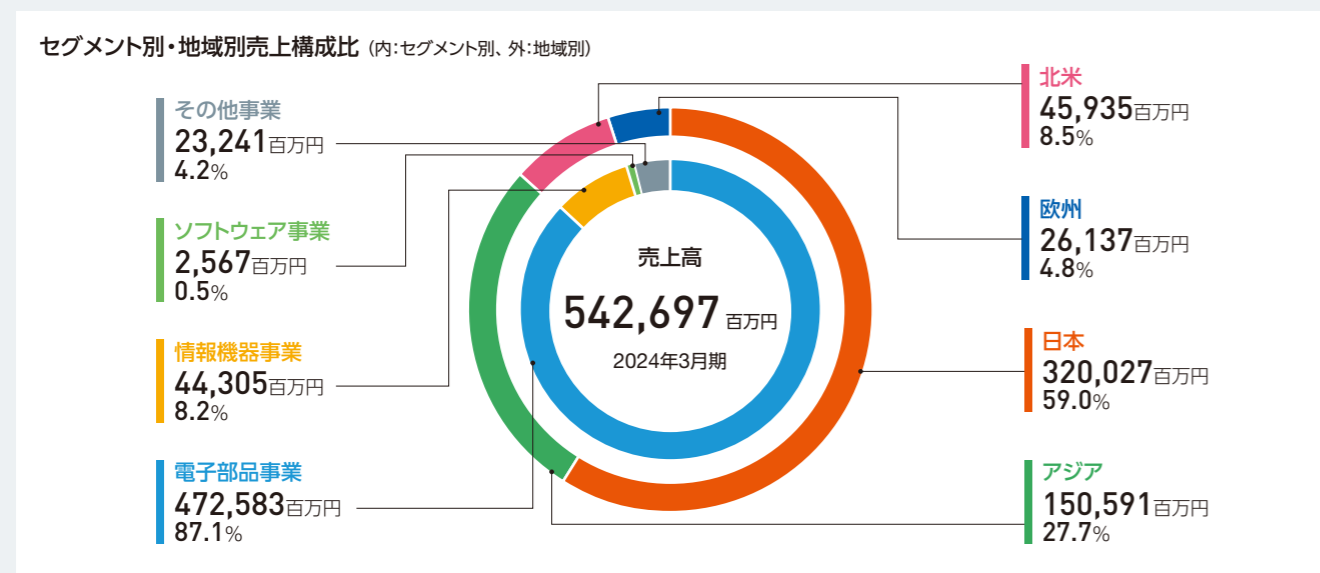
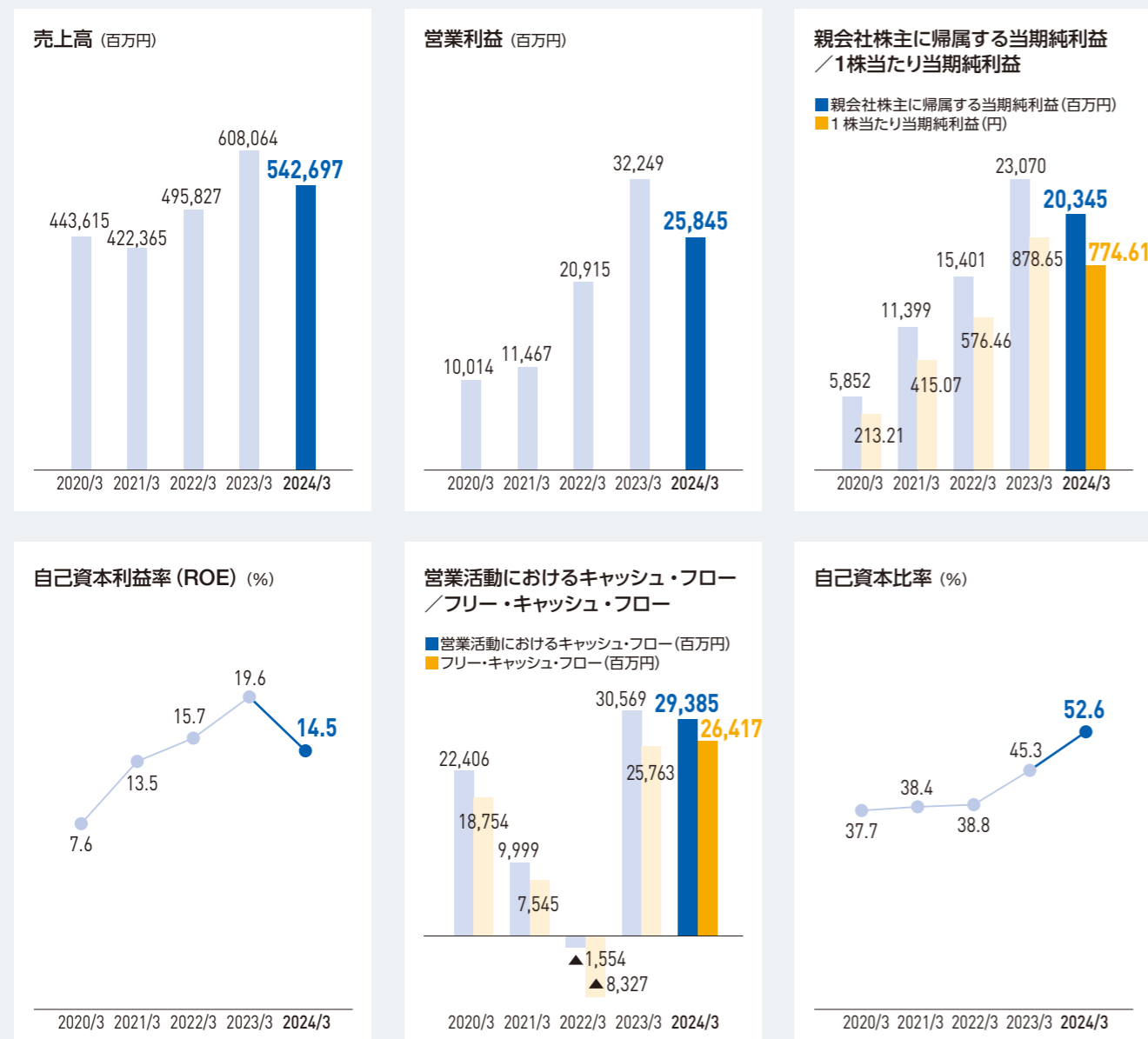


# 財務ハイライト

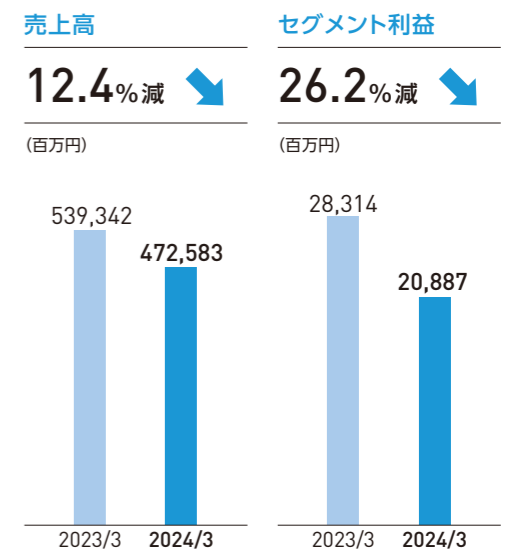


# セグメント別概況



**事業内容**  
半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など

**2024年3月期概況**  
電子部品ビジネスは、加賀FEI株式会社におけるSoC製品の販売が堅調に推移しましたが、前事業年度まで2年続いた半導体や電子部品の供給不足が緩和されたことに伴ってスポット需要が消失したことや、株式会社エクセルの海外子会社における特定顧客向け取引の縮小に加え、第3四半期以降に本格化した在庫調整の影響を受け、半導体・電子部品の販売が全般的に低調に推移しました。EMSビジネスでは、車載向けは半導体や電子部品の需給改善により伸長する一方、医療機器、産業機器向けは主要顧客における在庫調整の影響もあり減少しました。これらの結果、売上高は4,725億83百万円(前期比12.4%減)、セグメント利益は208億87百万円(前期比26.2%減)となりました。



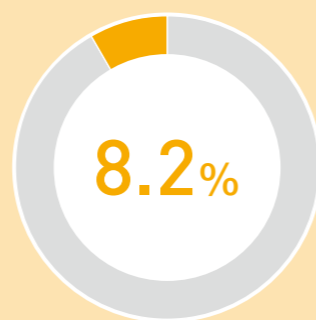
## 機会とリスク

	機会	リスク
<b>電子部品ビジネス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「EV (電気自動車)化」や「CASE」に代表される自動車関連技術の高度化</li> <li>「5G (第5世代移動通信システム)」、「IoT」、「AI」などICT関連</li> <li>クラウドドリフトやクラウドシフトによる需要拡大</li> </ul> <small>※ Connected, Autonomous, Shared &amp; Services, Electricの略</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウクライナ情勢の長期化や地政学リスクの顕在化に伴う資源価格など諸物価の高騰</li> <li>顧客の在庫調整の影響</li> <li>政策金利引き上げに伴う各国景気の停滞・悪化</li> <li>販売先、仕入れ先における商流変更に伴う商権喪失</li> </ul>
<b>EMSビジネス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アウトソーシング需要の高まり、自動化、効率化ニーズの拡大</li> <li>半導体、電子部品供給不足や長納期化の解消、サプライチェーンの混乱解消による産業分野からの需要増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外における人材不足</li> <li>地震や洪水などの自然災害や感染症拡大</li> <li>そのほか政治的・経済的な外部環境要因による工場の操業停止</li> </ul>

## Information Equipment 情報機器事業



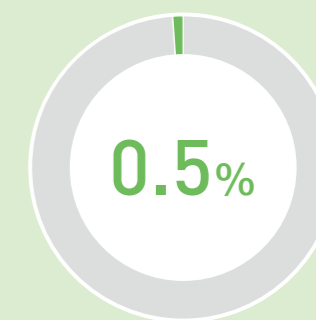
売上高構成比



## Software Business ソフトウェア事業



売上高構成比



### 事業内容

パソコン、PC 周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など

### 2024年3月期概況

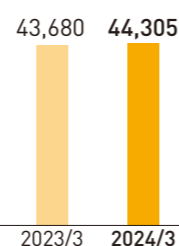
量販店向けパソコン販売は需要低迷により苦戦しましたが、教育機関向けのパソコン販売やセキュリティソフトの販売が好調に推移しました。また、LED設置ビジネスは、前事業年度から本格展開を開始した大口案件が寄与しました。

これらの結果、売上高は443億5百万円（前期比1.4%増）、セグメント利益は29億24百万円（前期比19.4%増）となりました。利益額、利益率ともに前期実績、社内計画の数値を上回る着地となりました。

### 売上高

1.4%増

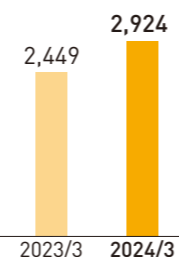
(百万円)



### セグメント利益

19.4%増

(百万円)



### 事業内容

CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など

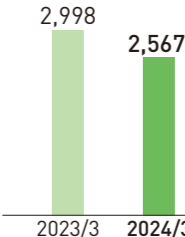
### 2024年3月期概況

CG映像制作の受注が概ね堅調に推移し、売上高は25億67百万円（前期比14.4%減）、セグメント利益は業務効率改善等にもなう売上原価抑制効果もあり3億70百万円（前期比29.0%増）となりました。

### 売上高

14.4%減

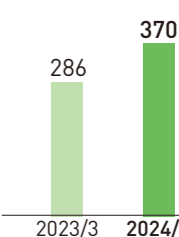
(百万円)



### セグメント利益

29.0%増

(百万円)



## 機会とリスク

### 機会

- ICTの進展による情報関連機器ニーズの堅調な拡大
- 高等教育機関のPC導入ならびにセキュリティ関連ニーズの拡大
- 新規商材の開拓

### リスク

- 製品供給不足による販売機会損失
- 商流変更による、商権や商品調達ルートへの喪失
- 価格競争や新規参入業者の増加による競争激化

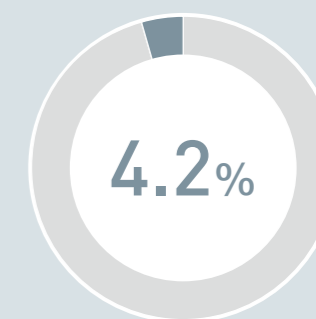
### 情報機器事業

## Other Business

## その他事業



売上高構成比



## TOPIC 電子部品事業

### 国内の道路事情と環境に配慮した小型EVバスの販売を開始

当社連結子会社の株式会社エクスセルはEV(電気自動車)バスの輸出入・販売を行うアルファバスジャパン株式会社と共同で2024年3月よりALFAバス社製 小型EVバス[e-City L6]の販売を開始しました。

ALFAバス社製EVバスは、バッテリーからの電気で行くため、排気ガスを排出せず、CO<sub>2</sub>排出量をゼロにすることが可能となるなど環境性能に優れています。また、搭載されたバッテリーは非常用電源としても使えるため、バス後部に外側から使えるACコンセントを設置することで、災害発生時の避難所などで防災ステーションとしての役割も果たします。

新発売となる小型EVバス[e-City L6]は、日本国内の道路事情を勘案した全長約6mの小型サイズながらバッテリーをリアルーフに分散配置することにより、全長7mクラスと同等の最大29名が乗車できる室内空間を確保しています。

発売開始後、4月には山梨交通株式会社に第一号を納入、山梨県米倉山次世代エネルギーPR施設「きらっと」と甲府駅の間を結ぶシャトルバスとして運行しています。

また、2025年4月から大阪で開催される「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」において、開催期間中、国内外から来場される賓客や万博関係者の会場内輸送車両として円滑な業務遂行・運営の支援を行う運営参加サプライヤーとして協賛することも決まりました。



ALFAバス社製  
小型EVバス[e-City L6]

### 事業内容

エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など

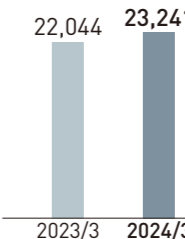
### 2024年3月期概況

PC製品およびPC周辺機器のリサイクルビジネス、およびアミューズメント機器やスポーツ用品の販売が堅調に推移し、売上高は232億41百万円（前期比5.4%増）、セグメント利益は15億55百万円（前期比41.2%増）となりました。

### 売上高

5.4%増

(百万円)



### セグメント利益

41.2%増

(百万円)

